

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 鹿島台駅周辺地区

平成28年3月

宮城県 大崎市

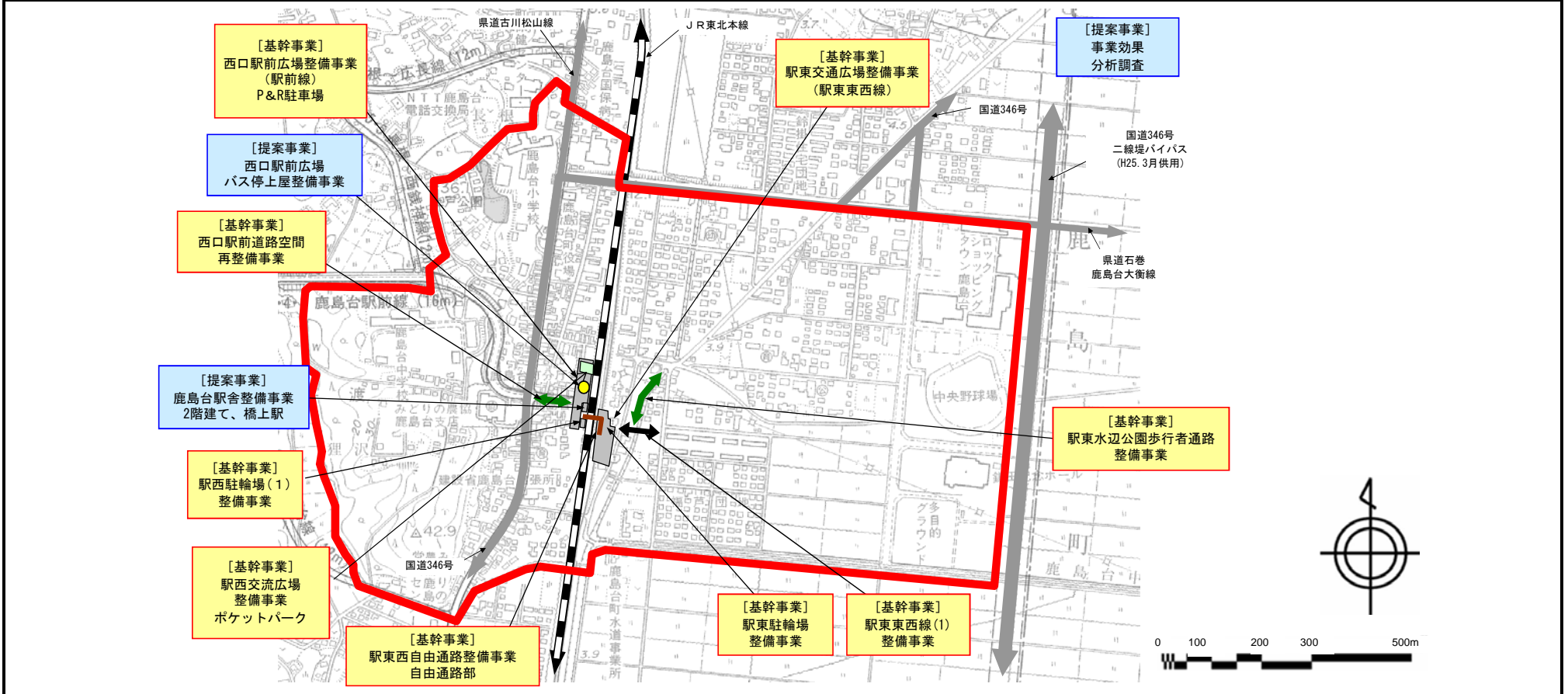
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	大崎市	地区名	鹿島台駅周辺地区	面積	96ha						
交付期間	平成22年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	2,293.1百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(西口駅前広場整備事業(駅前線)・駅東交通広場整備事業(駅東西線)・駅東西線(1)整備事業)、公園その他(鹿島台駅東水辺公園歩行者通路整備事業)、地域生活基盤施設(駅東一般駐車場整備事業・駅東駐輪場整備事業・駅西駐輪場(1)整備事業・駅西交流広場整備事業)、高質空間形成施設(互市通り道路空間整備事業・西口駅前道路空間再整備事業)、高次都市施設(駅東西自由通路整備事業)										
		提案事業	地域創造支援事業(西口駅前広場バス停上屋整備事業・鹿島台駅舎整備事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	駅東東西線(2)整備事業		事業見直しのため		指標1、2に関連するが、既存道路が代替機能を果たすことから、目標値は据え置きとする						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		事後評価において見込み値で評価する指標があるが、指標及び数値目標自体に影響なし								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	駅改札へのアクセス損失時間	人・分	245	H27	(3割以上削減)	H27	-	-55 (122%削減)	○	あり	駅東西自由通路や自由通路と直結した駅舎等が整備され、駅改札へのアクセス性が向上している。そのため、自由通路開通直後に実施したアンケート調査によると、駅東地区からのアクセス時間が短縮し、迂回損失が減少している。	平成28年度内
	指標2	歩行者の東西移動に伴う満足度	%	5	H18	50	H26	-	79	○	あり	駅東西自由通路や西口駅前道路空間、駅東水辺公園等が整備され、当該整備に関する地元説明会等の実施により住民の理解も得られている。そのため、自由通路開通直後に実施したアンケート調査によると、歩行者の東西移動に伴う満足度が上昇している。	平成28年度内
	指標3	西口駅前広場を中心としたイベントの開催回数	回/年	4	H21	8	H26	-	5	△	あり	西口駅前広場等は未竣工であるが、H27.11の商工会へのヒアリングによると、今後年間計5回のイベント開催が検討されており、その他にも月1回の清掃活動などが検討されている。そのため、西口駅前広場等が完成することにより、地元住民の地域活性化の取り組みが行われ、イベント開催回数も増加するものと想定される。今後、西口駅前広場等が完成した後に、フォローアップとして、H28年度のイベント開催実施を把握する。	平成28年度内
指標4										あり	なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	その他の数値指標1												
4) 定性的な効果発現状況	大崎市の南の玄関口として、駅利用の利便性向上により、安心して通勤・通学できる環境が整い、居住都市としての魅力が向上した。東西自由通路が開通して、周辺の小中学校の通学路として利用されている。												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等							
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	【実施頻度】計19回 【実施時期】平成16年6月～平成27年12月 【実施結果】鹿島台駅周辺整備にあたり、地元に対して、整備目的や計画図面等を説明し意見交換を行った。整備にあたり地区内居住者の意向を把握するとともに、住民への理解を促すことができた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も地域住民や鹿島台総合支所との連携を図りながら、整備後の利用状況について把握し、随時改善の方向性を検討する。							
持続的なまちづくり体制の構築	鹿島台まちづくり協議会活力ある産業部会が、大崎市の南の玄関口としてふさわしい外観と機能を有し、利用者にやさしい人と人との交流ができる駅・駅周辺整備を提案するため、ワークショップを開催した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も鹿島台総合支所を中心とした支援により、鹿島台まちづくり協議会の主体的なまちづくり活動を促進する。								

## 様式2-2 地区の概要

### 鹿島台駅周辺地区(宮城県大崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 大崎市の南の玄関口として、魅力あふれるにぎわいの市街地形成 目標① 玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成 目標② 駅東西の人々が行き交うにぎわい交流拠点の形成 目標③ 駅を中心とした魅力あふれるコミュニティ拠点の形成	駅改札へのアクセス損失時間	単位: 人・分	245 H27	(3割以上削減) H27	-55 (122%削減) H27
	歩行者の東西移動に伴う満足度	単位: %	5 H18	50 H26	79 H27
	西口駅前広場を中心としたイベントの開催回数	単位: 回/年	4 H21	8 H26	5 H27



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大崎市の南の玄関口にふさわしい“顔”として鹿島台駅の駅舎が整備された。なお、整備中の駅前広場、P&amp;R駐車場、駐輪場、道路、バス停上屋などが完成することにより、駅周辺交通の秩序が図られ、駅へのアクセス利便性向上が期待される。</li> <li>東西自由通路の開通により、駅東西のつながりが強化されている。</li> <li>本計画以外の事業であるが、国道346号二線堤バイパスが整備されたことにより、通過交通が排除された。</li> <li>西口駅前道路空間が再整備されたことにより、歩行者・自転車が安全・快適に通行できる空間が形成されている。</li> <li>駅東水辺公園歩行者通路が完成し、交流・憩い空間として利用されている。なお、駅前広場が完成することにより、イベントの開催等が行いやすくなり、駅周辺空間の魅力向上、交流機能の強化につながる事が期待される。</li> <li>西口駅前道路空間が再整備されたことにより、住民だけでなく来訪者も利用する道路空間が形成されている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場や道路施設、東西自由通路等の適切な維持管理を推進し、快適で安全安心な交通環境・歩行空間の維持に努める。</li> <li>駅前広場を活用し、駅周辺でのイベント等の開催を促進し、鹿島台駅周辺地区の魅力向上を図る。また、駅東水辺公園歩行者通路の良好な環境を維持する。</li> <li>鹿島台総合支所と連携しながらまちづくり協議会を支援し、当該活動の活性化を図る。</li> <li>商店街の魅力向上につながるため、関連事業の互市通り道路空間整備を検討する。また、地元商工会等の関連団体と協議しながら、駅周辺空間の商業機能の充実等について検討する。</li> </ul>